



## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月6日

上場会社名 グローリー株式会社 上場取引所 東  
コード番号 6457 URL <https://www.glory.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三和 元純  
問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 経理・財務本部長 (氏名) 藤川 幸博 TEL 079-297-3131  
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：有 (アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	259,706	45.5	35,335	-	33,749	-	20,906	-
2023年3月期第3四半期	178,503	12.5	△1,621	-	△1,490	-	△4,689	-

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 29,083百万円 (688.6%) 2023年3月期第3四半期 3,688百万円 (△62.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	375.96	-
2023年3月期第3四半期	△81.41	-

(参考) EBITDA (営業利益+減価償却費+のれん償却額)

2024年3月期第3四半期 50,521百万円 (308.5%) 2023年3月期第3四半期 12,369百万円 (△41.1%)

のれん償却前四半期純利益 (親会社株主に帰属する四半期純利益+のれん償却額)

2024年3月期第3四半期 26,204百万円 (-) 2023年3月期第3四半期 385百万円 (△96.3%)

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	429,210	205,761	47.8	3,689.39
2023年3月期	381,273	195,984	50.7	3,474.76

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 205,179百万円 2023年3月期 193,166百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	34.00	-	34.00	68.00
2024年3月期	-	40.00	-	-	-
2024年3月期 (予想)	-	-	-	60.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

配当予想の修正については、本日（2024年2月6日）公表いたしました「2024年3月期 期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	365,000	42.7	48,000	—	46,000	—	28,000	—	503.52

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

（参考）EBITDA	2024年3月期	66,500百万円
のれん償却前当期純利益	2024年3月期	34,700百万円

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	58,938,210株	2023年3月期	58,938,210株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	2,873,306株	2023年3月期	2,873,306株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	55,608,425株	2023年3月期3Q	57,605,140株

（注）期末自己株式には、上記のほか、「役員報酬BIP信託口」及び「株式付与ESOP信託口」が所有する当社株式があります（2024年3月期第3四半期 451,664株、2023年3月期 473,645株）。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(セグメント情報) .....	8
(重要な後発事象) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国やアジア地域全体においては景気の持ち直しが継続したものの、欧州や中国では回復が遅れが見られました。また、混迷を深めるウクライナ情勢に加え、中東情勢が緊迫化するなど、地政学リスクへの警戒感が強まりました。

わが国経済におきましては、社会経済活動の正常化による個人消費の回復や雇用環境の改善により、景気は回復基調となりました。一方で、円安の進行や物価上昇が継続しており、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

こうした状況のなか、海外市場につきましては、金融市場及びリテール市場ともに、人手不足への対応や業務効率化を目的としたセルフ型の製品・サービスへの需要が堅調に推移いたしました。加えて、半導体等の部品調達難が大幅に緩和し、生産が正常化したことにより主要製品の販売が増加いたしました。

また、リテール市場向けソリューションの充実やソフトウェア事業の拡大を目的に、小売業向けクラウドソリューションであるユニファイド・コマース・プラットフォーム(\*)を開発・販売する英国Flooid Topco Limitedの買収を2023年12月26日付で決議し、2024年1月12日付で手続きが完了いたしました。

国内市場につきましては、金融市場及び流通・交通市場では、2024年7月3日に予定されている新紙幣発行に伴う製品の更新や改造作業が本格化し、製品売上、保守売上ともに増加いたしました。また、遊技市場では、スマート遊技機向けカードシステムの販売が好調に推移いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、259,706百万円（前年同期比 45.5%増）となりました。このうち、製品及び商品売上高は、157,707百万円（前年同期比 52.4%増）、保守売上高は、101,998百万円（前年同期比 36.0%増）でありました。利益につきましては、営業利益は、35,335百万円（前年同期は 1,621百万円の損失）、経常利益は、33,749百万円（前年同期は 1,490百万円の損失）であり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、20,906百万円（前年同期は 4,689百万円の損失）となりました。

(\*)ユニファイド・コマース・プラットフォームとは、複数の販売チャネルを一つのプラットフォームに統合することで、店舗やオンラインでの購入プロセスをスムーズにし、消費者に統一されたショッピング体験を提供する仕組み。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### (金融市場)

主要製品である「オープン出納システム」及び窓口用「紙幣硬貨入金機」や「紙幣両替機」の販売は好調でありました。加えて、新紙幣発行に伴う改造作業により保守売上高も増加いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は、55,620百万円（前年同期比 134.3%増）、営業利益は、19,021百万円（前年同期は 798百万円の損失）となりました。

#### (流通・交通市場)

主要製品である「レジつり銭機」及び警備輸送会社向け「売上入金機」の販売は好調でありました。加えて、新紙幣発行に伴う改造作業により保守売上高も増加いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は、52,007百万円（前年同期比 63.7%増）、営業利益は、7,143百万円（前年同期は 595百万円の損失）となりました。

#### (遊技市場)

主要製品である「カードシステム」の販売は、スマート遊技機向けのユニットが好調でありました。加えて、新紙幣発行に伴う改造作業により保守売上高も増加いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は、21,214百万円（前年同期比 97.7%増）、営業利益は、7,493百万円（前年同期比 521.0%増）となりました。

#### (海外市場)

米州では、主要製品である金融市場向け「紙幣入金機<RBG/GLRシリーズ>」及びリテール市場向け「紙幣硬貨入金機<CI/CI-Xシリーズ>」の販売は好調であり、売上高は、60,112百万円（前年同期比 25.2%増）となりました。

欧州では、主要製品である金融市場向け「紙幣入金機<RBG/GLRシリーズ>」の販売は低調でしたが、リテール市場向け「紙幣硬貨入金機<CI/CI-Xシリーズ>」の販売は堅調であり、売上高は、55,118百万円（前年同期比 8.2%増）となりました。

アジアでは、リテール市場向け「紙幣硬貨入金機<CI/CI-Xシリーズ>」の販売は好調であり、売上高は、

11,386百万円（前年同期比 0.8%増）となりました。

また、Acrelecグループの売上高は、19,831百万円（前年同期比 28.3%増）であり、Revolutionグループの売上高は、12,989百万円（前年同期比 4.9%減）でありました。

この結果、当セグメントの売上高は、126,617百万円（前年同期比 14.9%増）、営業利益は、2,045百万円（前年同期は 511百万円の損失）となりました。

その他の事業セグメントにつきましては、売上高は、4,245百万円（前年同期比 109.4%増）、営業損益は、368百万円の損失（前年同期は 923百万円の損失）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

円安影響や国内市場における新紙幣発行に伴う製品更新及び改造作業の実施件数の増加により、通期の連結業績予想を上方修正し、売上高3,650億円、営業利益480億円、経常利益460億円、親会社株主に帰属する当期純利益280億円といたしました。

なお、業績見通しの前提としております第4四半期以降の為替レートにつきましては、1米ドル140円（変更前135円）、1ユーロ155円（変更前145円）としております。

また、年間の配当予想につきましては、1株につき年間80円（支払い済み中間配当40円を含む。）としておりましたが、期末配当を20円増額の1株につき60円に修正し、年間100円といたします。詳細は、2024年2月6日公表の「2024年3月期 期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	36,753	33,203
受取手形、売掛金及び契約資産	59,787	88,048
電子記録債権	1,821	3,257
有価証券	833	—
商品及び製品	53,175	66,730
仕掛品	14,951	15,475
原材料及び貯蔵品	26,872	33,796
その他	10,719	9,713
貸倒引当金	△1,437	△1,629
流動資産合計	203,477	248,596
固定資産		
有形固定資産	42,517	44,013
無形固定資産		
顧客関係資産	26,428	25,985
のれん	55,528	53,864
その他	9,768	7,841
無形固定資産合計	91,725	87,692
投資その他の資産		
投資有価証券	14,553	13,586
その他	31,104	37,427
貸倒引当金	△2,106	△2,105
投資その他の資産合計	43,552	48,908
固定資産合計	177,795	180,614
資産合計	381,273	429,210
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,197	19,294
電子記録債務	7,276	10,296
短期借入金	45,623	69,813
1年内返済予定の長期借入金	1,481	2,915
1年内償還予定の社債	10,000	—
未払法人税等	428	9,798
賞与引当金	7,110	7,863
役員賞与引当金	54	121
株式付与引当金	48	313
その他	49,281	54,968
流動負債合計	139,501	175,386
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	12,055	10,637
株式付与引当金	194	287
退職給付に係る負債	2,166	2,260
その他	21,372	24,876
固定負債合計	45,787	48,061
負債合計	185,288	223,448

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,892	12,892
資本剰余金	12,286	—
利益剰余金	141,522	158,321
自己株式	△8,161	△8,104
株主資本合計	158,540	163,109
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,367	1,956
為替換算調整勘定	26,672	34,329
退職給付に係る調整累計額	6,584	5,783
その他の包括利益累計額合計	34,625	42,069
非支配株主持分	2,818	582
純資産合計	195,984	205,761
負債純資産合計	381,273	429,210

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	178,503	259,706
売上原価	113,926	144,490
売上総利益	64,576	115,216
販売費及び一般管理費	66,198	79,880
営業利益又は営業損失(△)	△1,621	35,335
営業外収益		
受取利息	112	238
受取配当金	180	187
為替差益	—	162
デリバティブ評価益	1,455	—
その他	447	411
営業外収益合計	2,195	999
営業外費用		
支払利息	756	1,306
為替差損	365	—
持分法による投資損失	736	744
システム障害対応費用	—	441
その他	206	94
営業外費用合計	2,064	2,585
経常利益又は経常損失(△)	△1,490	33,749
特別利益		
固定資産売却益	6	19
投資有価証券売却益	—	210
特別利益合計	6	229
特別損失		
固定資産除却損	7	133
投資有価証券売却損	—	3
投資有価証券評価損	165	74
減損損失	1,469	1,478
その他	12	0
特別損失合計	1,654	1,689
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△3,138	32,289
法人税等	1,100	11,027
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△4,238	21,261
非支配株主に帰属する四半期純利益	451	354
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△4,689	20,906

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△4,238	21,261
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	503	580
為替換算調整勘定	7,487	8,034
退職給付に係る調整額	△71	△800
持分法適用会社に対する持分相当額	7	8
その他の包括利益合計	7,926	7,821
四半期包括利益	3,688	29,083
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,988	28,350
非支配株主に係る四半期包括利益	699	733

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年7月12日付で、連結子会社であるSittrade Italia S.p.A.の株式を追加取得いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が12,286百万円、利益剰余金が704百万円減少しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	金融市場	流通・交通 市場	遊技市場	海外市場	計				
売上高									
外部顧客への売上高	23,736	31,767	10,731	110,239	176,475	2,028	178,503	—	178,503
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	23,736	31,767	10,731	110,239	176,475	2,028	178,503	—	178,503
セグメント損益	△798	△595	1,206	△511	△698	△923	△1,621	—	△1,621

(注) 1. 「その他」の区分は、上記の報告セグメントに属さない製品及び商品であります。

2. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	金融市場	流通・交通 市場	遊技市場	海外市場	計				
売上高									
外部顧客への売上高	55,620	52,007	21,214	126,617	255,460	4,245	259,706	—	259,706
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	55,620	52,007	21,214	126,617	255,460	4,245	259,706	—	259,706
セグメント損益	19,021	7,143	7,493	2,045	35,703	△368	35,335	—	35,335

(注) 1. 「その他」の区分は、上記の報告セグメントに属さない製品及び商品であります。

2. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## (重要な後発事象)

## (取得による企業結合)

当社は、2023年12月26日開催の取締役会において、当社の連結子会社であるGlory Global Solutions (International) Ltd. が、クラウドベースの小売業向けソフトウェア“ユニファイド・コマース・プラットフォーム”(以下「UCP」といいます。)を提供するFlood Topco Limited (以下「フルイド社」)の全発行済株式を取得(以下「本買収」)する契約を締結することについて決議し、同日付で株式譲渡契約を締結いたしました。なお、株式の取得手続きは2024年1月12日付で完了しております。

## 1. 企業結合の概要

## (1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 Flood Topco Limited

事業の内容 クラウドベースの小売業向けソフトウェアであるUCPの開発及び販売

## (2) 企業結合を行った主な理由

当社グループは、『長期ビジョン2028』に“人と社会の「新たな信頼」を創造するリーディングカンパニーへ”とのコンセプトを掲げ、“We enable a confident world”の実現に向け『2023中期経営計画』において各施策を推進中であります。

本計画では、当社グループの事業の多角化を図るため、重要な成長戦略と位置付ける海外事業の強化と通貨処理機関連事業の枠を超えた事業領域の拡大に取り組んでおり、積極的な経営資源の投入を行っております。フルイド社は、北米や英国を中心としたグローバルなリテール市場向けに、あらゆる消費者との接点においてシームレスな体験を提供するUCPの開発・販売会社であります。同社のUCPは、小売店舗が利用中のPOS、セルフレジ、モバイルPOS、セルフオーダー&ペイキオスク、コンバーティブルレーン等のハードウェアにかかわらず導入することができ、あらゆる店舗形態や業種において、価格設定、支払い、レシート、課税、プロモーション、クーポン、注文、配送等の処理を行うことが可能です。

当社は、本買収を当社グループにとって非常に重要な戦略的ステップと捉えており、フルイド社を当社グループに加えることにより、グループにおける既存のリテール市場向けソリューション・ポートフォリオの充実のみならず、SaaS (Software as a Service) モデルによる収入源の拡大も図ることができると考えております。また、フルイド社は、顧客に対し、業務効率の向上、コスト削減、シームレスな消費者体験の提供、環境への好影響等を提供することをコアバリューとして掲げておりますが、これらは、当社グループの既存ソリューションとの親和性が非常に高く、今後、当社グループが海外におけるリテール市場や飲食市場等既存の市場を強化するにあたり、UCPの提供拡大等ソフトウェア事業の充実を図ることにより、本事業をさらに拡大できるものと考えております。

加えて、当社グループは、両社の販売チャネルを通じた相互の製品販売の拡大等のシナジー効果も期待しております。特に、フルイド社にとっては、当社グループの貨幣処理機事業分野における世界的プレゼンスや販売チャネルを活用することにより、小売店やレストラン等における成長を加速させることができると考えております。

## (3) 企業結合日

2024年1月12日

## (4) 企業結合の法的形式

株式取得

## (5) 結合後企業の名称

Flood Topco Limited

## (6) 取得した議決権比率

100%

## (7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社の連結子会社である Glory Global Solutions (International) Ltd. が現金を対価として株式を取得したことによるものです。

## 2. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

現時点では確定しておりません。

3. 主要な取得関連費用の内容及び金額  
アドバイザーに対する報酬・手数料等 3百万英ポンド  
(注) 上記の金額は概算額であります。
4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間  
現時点では確定しておりません。
5. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳  
現時点では確定しておりません。
6. 支払資金の調達方法  
借入金

(社債の発行)

当社は、2023年7月27日開催の取締役会において、国内無担保普通社債の発行を決議し、また、2024年1月31日開催の取締役会において下記のとおり修正することを決議いたしました。

国内無担保普通社債

- |         |  |
|---------|--|
| (1)発行総額 | 300億円以内                                |
| (2)発行価格 | 額面100円につき100円                          |
| (3)利率   | 社債償還年限に対応する国債利回り+スプレッド2.0%以下または年3.0%以下 |
| (4)発行時期 | 2024年4月1日から2024年9月30日まで                |
| (5)償還期限 | 10年以内                                  |
| (6)償還方法 | 満期一括償還                                 |
| (7)資金使途 | 設備投資資金、借入金返済資金、社債償還資金、投融資資金及び運転資金      |